小中一貫教育に向けて
～保護者アンケートの結果をご報告します～

4月に、市立小・中学校、幼稚園で行われた参観日およびPTA総会において、小中一貫教育に関するアンケートを実施しました。今月号では、小学校の各地域別集計結果と、各中学校の集計結果を、アンケートの設問に沿ってご報告します。

アンケートの内容

①回答者（保護者の方）の性別
②回答者（保護者の方）の年齢
③お子さんの年代
④加東市の小学校の小規模化がさらに進むことが予想される中、今後の教育環境について、どのように思われますか。
⑤小学校高学年において、中学校教員が理科の専科指導を行う（社小・滝野東小）など、教科によっては専門的な指導ができる教科担任制を実施していますが、一人ひとりの学習意欲や学力を高めるために有効であると思いますか。
⑥小中学校９年間の継続性・連続性のあるカリキュラムで指導するなどの小中一貫教育の実施は、有効であると思いますか。
⑦平成33年度に東条地域、平成36年度に社地域、平成40年度に滝野地域において、それぞれ小中一貫校を開学するという計画をお示ししています。この計画の進め方についてどう思われますか。

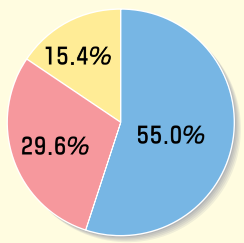
以上、７つの設問を設け、アンケートにご協力いただきました。今回は、このうち④から⑦までの設問について、取りまとめた結果をご報告いたします。
（円グラフおよび内訳の数字は概数です。）

Ⅰ．小学校の小規模化が進むことが予想される中、今後の教育環境について、どう思われますか。

各地域の小学校では、現状でよいと感じておられる方が多い一方、東条地域において、約半数の方が児童数の少ない教育環境に不安を抱かれていることがわかりました。小学校別では、米田小で『現状でよい』『どちらかというと現状でよい』とされた方45.9%に対し、『どちらかというと不安』『不安』とされた方が43.2%とほぼ二つに分かれました。社地域において、不安であるとの回答が多かったのは、ほかに三草小、鴨川小で、ともに30%を超えています。東条地域の小学校では東条東小で38.8%の方が、東条西小では実に75.5%の方が児童数の少ない教育環境に不安を抱いておられます。

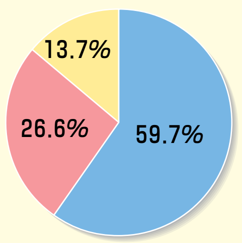
また、中学校では東条中で44.2%の方が不安を抱かれています。

社地域小学校（回答数338）



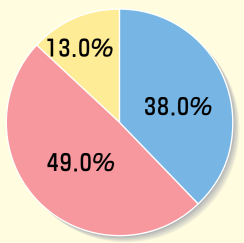
■現　状　55.0%
（内訳:現状でよい　22.2%、どちらかというと現状でよい　32.8%）
■不　安　29.6%
（内訳:どちらかというと不安　22.5%、不安　7.1%）
□わからない　15.4%

滝野地域小学校（回答数211）



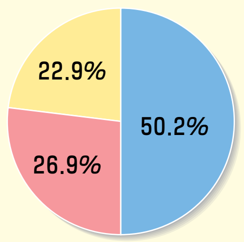
■現　状　59.7%
（内訳:現状でよい　22.3%、どちらかというと現状でよい　37.4%）
■不　安　26.6%
（内訳:どちらかというと不安　24.2%、不安　2.4%）
□わからない　13.7%

東条地域小学校（回答数192）



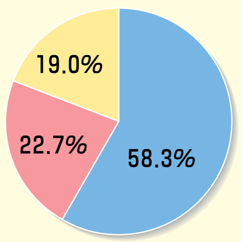
■現　状　38.0%
（内訳:現状でよい　12.0%、どちらかというと現状でよい　26.0%）
■不　安　49.0%
（内訳:どちらかというと不安　35.5%、不安　13.5%）
□わからない　13.0%

社中学校（回答数249）



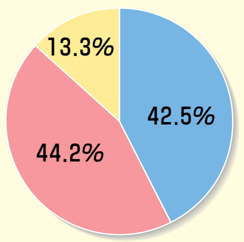
■現　状　50.2%
（内訳:現状でよい　14.5%、どちらかというと現状でよい　35.7%）
■不　安　26.9%
（内訳:どちらかというと不安　22.1%、不安　4.8%）
□わからない　22.9%

滝野中学校（回答数168）



■現　状　58.3%
（内訳:現状でよい　20.2%、どちらかというと現状でよい　38.1%）
■不　安　22.7%
（内訳:どちらかというと不安　17.9%、不安　4.8%）
□わからない　19.0%

東条中学校（回答数120）



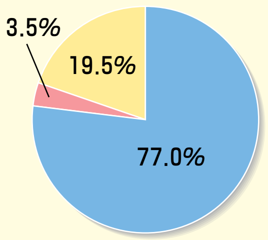
■現　状　42.5%
（内訳:現状でよい　12.5%、どちらかというと現状でよい　30.0%）
■不　安　44.2%
（内訳:どちらかというと不安　31.7%、不安　12.5%）
□わからない　13.3%

Ⅱ．小学校における教科担任制は、一人ひとりの学習意欲や学力を高めるために有効であると思いますか。

この設問では、どの学校においても、70%を超える方が、小学校における教科担任制は子どもたちの学習意欲と学力の向上に『有効である』『どちらかというと有効である』との見解をお持ちであることがわかりました。80%を超える方が『有効である』『どちらかというと有効である』と回答されたのは、社小、鴨川小、滝野東小で、３校のうち２校に、現在、教科担任制を取り入れている社小と滝野東小が入っています。

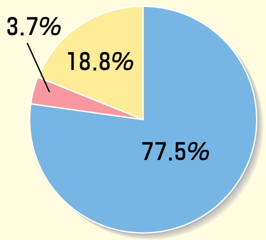
小学校への教科担任制導入に、多くの方が期待を寄せられています。

社地域小学校（回答数343）



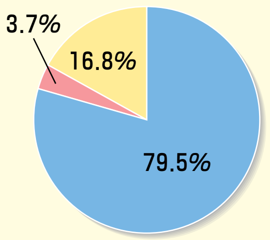
■有　効　77.0%
（内訳:有効である　44.3%、どちらかというと有効である　32.7%）
■有効でない　3.5%
（内訳:どちらかというと有効でない　2.6%、有効でない　0.9%）
□わからない　19.5%

滝野地域小学校（回答数213）



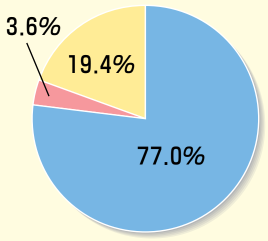
■有　効　77.5%
（内訳:有効である　44.6%、どちらかというと有効である　32.9%）
■有効でない　3.7%
（内訳:どちらかというと有効でない　2.8%、有効でない　0.9%）
□わからない　18.8%

東条地域小学校（回答数190）



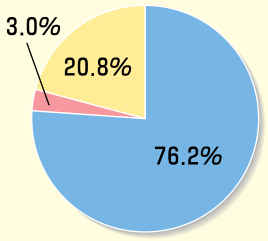
■有　効　79.5%
（内訳:有効である　37.9%、どちらかというと有効である　41.6%）
■有効でない　3.7%
（内訳:どちらかというと有効でない　3.2%、有効でない　0.5%）
□わからない　16.8%

社中学校（回答数248）



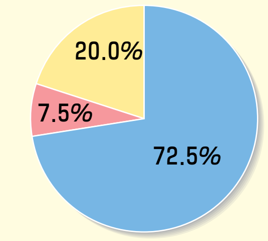
■有　効　77.0%
（内訳:有効である　38.7%、どちらかというと有効である　38.3%）
■有効でない　3.6%
（内訳:どちらかというと有効でない　3.2%、有効でない　0.4%）
□わからない　19.4%

滝野中学校（回答数168）



■有　効　76.2%
（内訳:有効である　36.3%、どちらかというと有効である　39.9%）
■有効でない　3.0%
（内訳:どちらかというと有効でない　1.2%、有効でない　1.8%）
□わからない　20.8%

東条中学校（回答数120）

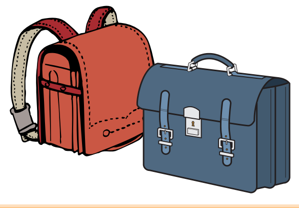


■有　効　72.5%
（内訳:有効である　25.0%、どちらかというと有効である　47.5%）
■有効でない　7.5%
（内訳:どちらかというと有効でない　5.0%、有効でない　2.5%）
□わからない　20.0%

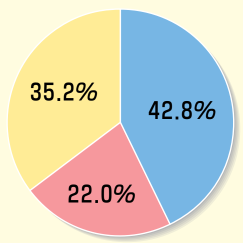
Ⅲ．小中学校９年間の継続性・連続性のあるカリキュラムで指導するなどの小中一貫教育の実施は、有効であると思いますか。

小学校でのアンケートでは、小中一貫教育について『有効であると思う』『どちらかというと有効であると思う』と回答された方の割合が一番高いという結果になりました。学校別では、『有効であると思う』『どちらかというと有効であると思う』との回答が40%を超えた学校は社小、米田小、三草小、滝野東小、東条西小でその一方で、『どちらかというと有効とは思わない』『有効とは思わない』との回答が40%を超えたのは福田小、鴨川小でした。

また、『わからない』と回答された方も多くおられました。

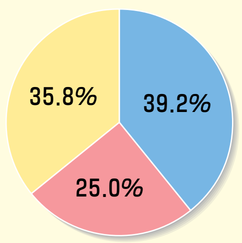


社地域小学校（回答数341）



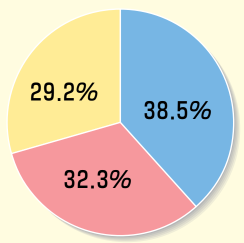
■そう思う　42.8%
（内訳:そう思う　12.9%、どちらかというとそう思う　29.9%）
■そう思わない　22.0%
（内訳:どちらかというとそう思わない　10.3%、そう思わない　11.7%）
□わからない　35.2%

滝野地域小学校（回答数212）



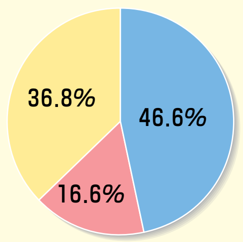
■そう思う　39.2%
（内訳:そう思う　14.6%、どちらかというとそう思う　24.6%）
■そう思わない　25.0%
（内訳:どちらかというとそう思わない　14.6%、そう思わない　10.4%）
□わからない　35.8%

東条地域小学校（回答数192）



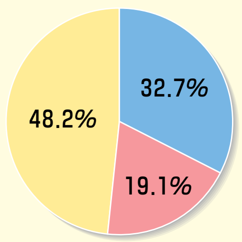
■そう思う　38.5%
（内訳:そう思う　10.9%、どちらかというとそう思う　27.6%）
■そう思わない　32.3%
（内訳:どちらかというとそう思わない　21.9%、そう思わない　10.4%）
□わからない　29.2%

社中学校（回答数247）



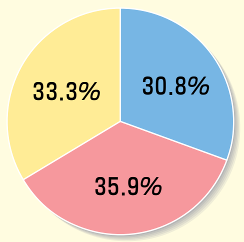
■そう思う　46.6%
（内訳:そう思う　14.2%、どちらかというとそう思う　32.4%）
■そう思わない　16.6%
（内訳:どちらかというとそう思わない　10.9%、そう思わない　5.7%）
□わからない　36.8%

滝野中学校（回答数168）



■そう思う　32.7%
（内訳:そう思う　9.5%、どちらかというとそう思う　23.2%）
■そう思わない　19.1%
（内訳:どちらかというとそう思わない　14.3%、そう思わない　4.8%）
□わからない　48.2%

東条中学校（回答数120）



■そう思う　30.8%
（内訳:そう思う　6.7%、どちらかというとそう思う　24.1%）
■そう思わない　35.9%
（内訳:どちらかというとそう思わない　21.7%、そう思わない　14.2%）
□わからない　33.3%